

Ryoma Suzuki



My hobby is exercise

こんにちは！さわだスポーツクラブ編集部です。さわだスポーツクラブのことを少しでも知ってほしい！そのためにはどんな人間が指導に当たっているのかを知ってもらうことが大切なのではないか、と考えました！ぜひこの冊子を通して、少しでもさわだスポーツクラブを知っていただければと思います。この冊子では鈴木亮真へのインタビュー内容を掲載しています！ぜひお楽しみください。



趣味を教えてください。また休みの日は何をして過ごしていますか？

身体を動かすことが好きです。休みはボウリングに行くことや友達と体育館を借りて運動したり、麻雀をしています。時にはまったりとした時間を家で過ごしています。

今、あなたが最もやりたいことやほしいものを教えてください。またその理由も教えてください。

電子機器を増やしたり質の良いものしたい。

理由は自宅時間が増え、パソコン等の電子機器に触れる機会が増えて興味を持ったからです。また、写真や動画は子どもの指導にも役に立つと思うのでしっかりと扱えるようにたいからです。

出身地と生まれた時のエピソードを教えてください。

栃木県小山市で生まれ育ちました。

夜泣きが酷くかなり両親には迷惑をかけていたり、ミルクを飲むのが遅く生まれてからは大変だったそうです。

幼児～高校生までの思い出のエピソードを教えてください。

幼児期はとにかく高いところが好きで遊具やフェンス、木登りなどとにかく高いところを登っていました。幼稚園から脱走したこともあり少しやんちゃをしていました。

小学生は外で遊ぶのが好きで、放課後は公園に行って近所の友達と遊んでいました。好き嫌いがなく給食は全て完食していました。

中学生から高校生までは部活動が楽しく学校に行っていました。部活動は陸上競技の棒高跳びをやっていました。特殊な競技だったため高校選びは棒高跳びができる環境を選んだ程です。





大学（専門、短大）等での思い出のエピソードを教えてください。

高校から大学に進学する時同じ高校の人がいなかったのが不安であったが、共通の目的を持った人達が集まる大学では、すぐに打ち解け友達もでき楽しく過ごすことができました。また、大学でも競技を続けたので部活動の仲間とも楽しく高め合うことができた。

介護等実習や教育実習をすることで様々な子どもや大人と関わることで、多くの貴重な経験を得られた。

私は大学に入り初めて骨折を2度して挫折経験をした。それまでは怪我なく練習ができていたので落ち込みましたが、落ち込むだけでなくそこから立ち直る術を得ることができました。過ぎてみれば良い経験だったのかもしれません。

今までの人生で最も努力したことを教えてください。

陸上競技の棒高跳びは競技人口が少なく、一緒競技する仲間が同じ学校にはいなかったもので、1人で色々考えて練習をしていた。時には他校に行き練習することはあったが基本は1人でやっていた。環境はいいものではなかったが好きだから続けてこれた。努力もできた。その結果関東大会まで出場することができました。このことから何事も自分で考えて行動することの重要性に気づくことができた。





今までの人生の中で自慢や、誇りに思っていることを教えてください。

2度の骨折はしたが、インフルエンザには1度もかかったことがない健康体です。

運動指導の先生を目指したきっかけを教えてください。

部活動の成績が良かったこともあり、母校の先生から指導してほしいと声が掛かり、指導をしたことがきっかけです。自分で運動するのも楽しいが、教えることの楽しさにも気付くことができたので、指導者を目指して大学は教育学部のある大学を選んだ。

さわだスポーツクラブに入社した理由を教えてください。

始めは中学校で保健体育の教員を目指したが、企業説明を試しに聞きに行った時、幼児期から運動をすることの意義を知ったので、幼児体育に興味を持ちました。その中でもさわだスポーツクラブでは他社にはないサーキット運動を導入しすることや子ども自身に考えて運動するようなプログラムを組んでいるところに惹かれたので入社した。

さわだスポーツクラブでのやりたいことを教えてください。

人には好きな食べ物と嫌いな食べ物があるように、得意なことと苦手なことがあるように人それぞれです。それは、幼い時の経験が多いと私は思っています。それが運動、スポーツであることは勿体ないと考えるので、幼児期から運動することの楽しさや素晴らしさを与えられるような指導をしていきたいと考えています。





これからの目標や自分の未来像、実現したいことを教えてください。

どのような形でも今から関わる子ども達には良い影響を与えられる存在になりたい。それが運動面だけでなく、日常生活や今後の生き方など色々な場面でも活かせるような事を少しでも教えていければと思っています。

最後にこれから指導することになる未来ある子どもたちにメッセージをお願いします。

運動、スポーツを通して人より多くのことが出来ることや勝負に勝つことだけが楽しさではないと思います。どんな小さなことでも「できない」が「できる」になる時の喜びがとても重要です。それが運動、スポーツをしていて楽しい瞬間だと私は思うからです。みんなで楽しく運動、スポーツをしていきましょう。



Ryoma Suzuki

